



リポーター 巻幡真利子さん

丹波篠山の家とは…

丹波篠山では、地域の気候風土文化により形成された瓦葺きの美しい屋根並みや田園景観と調和した農村集落など、住宅が地域ごとに特色ある景観を生み出し、大きな魅力となっています。しかし近年、地域性に関係なく全国的に同じようなデザインの住宅が増えたことで、地域の個性が失われ、町並み景観への影響が懸念されています。

そこで、地元建築組合と住居楽部(若手工務店の会の皆さん)にアドバイザーとして参画いただき、丹波篠山の気候風土、文化にあった意匠や色彩、材料などの基準を定めた丹波篠山の家認定基準を定めました。

モデルハウスが完成

この基準を満たした木造住宅が「丹波篠山の家」として認定され、この基準を具現化したモデルハウスが9月29日にハートピア北条団地内に完成しました。

屋根は切妻の和瓦葺き、外壁はしつこいや焼杉で仕上げられ、夏の日差しや雪をさえぎる深い軒や下屋などが設けられています。柱やはり、床などには、丹波篠山産木材を使用。木材の約6割が市産材だそうです。

そして、基準を満たした住宅を建築する際、70万円から130万円までの補助を受けることができます。

モデルハウスを設計した(株)一葉建築設計事務所の大前裕樹さんは、「市内の工務店を活用いただき、丹波篠山の風土にあった家が増えればうれしいですね」と話されます。

今後について、市役所地域計画課の依藤智広係長は、「今後も多くの皆さんにご覧いただければ」と話されます。



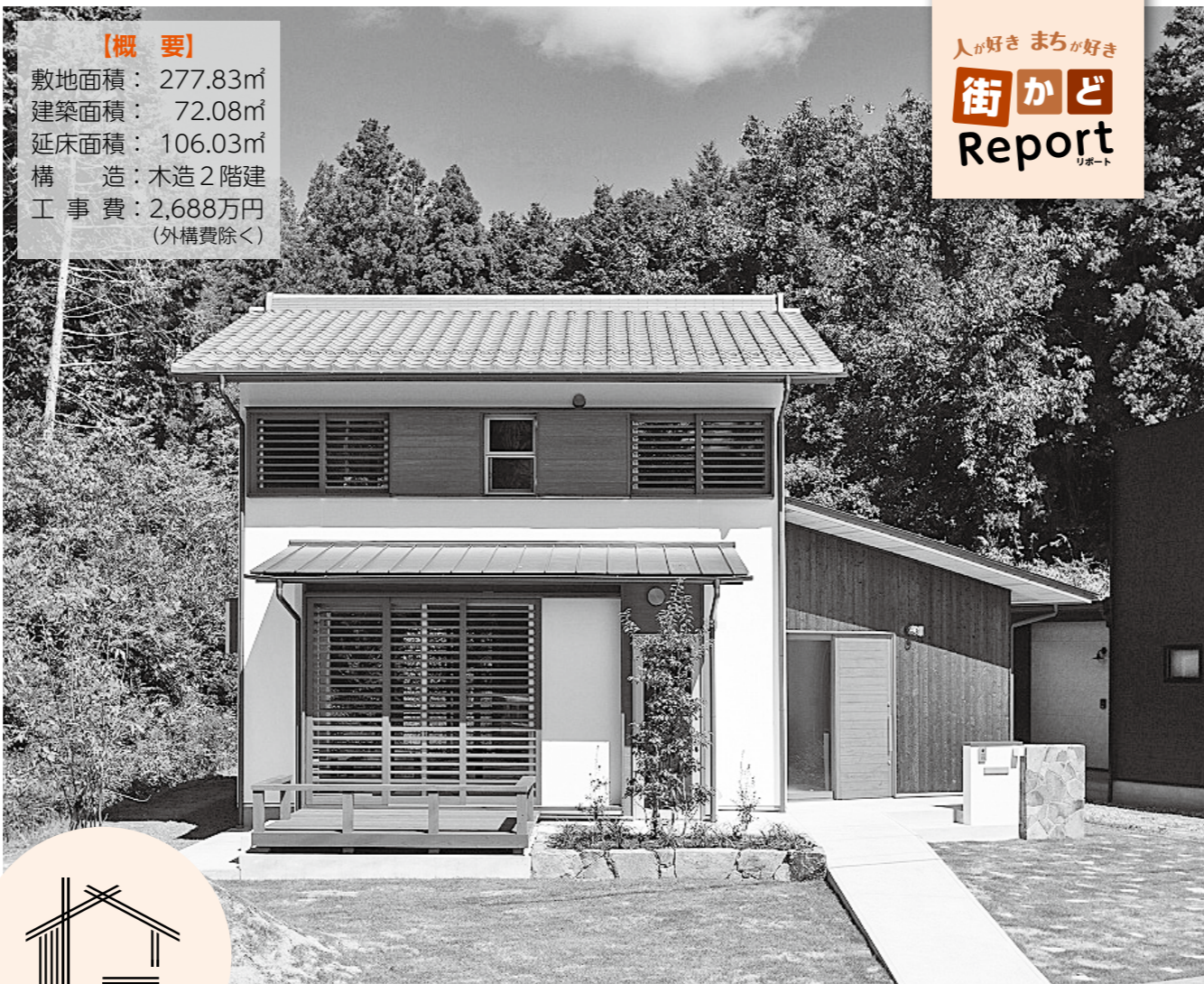
田園景観に調和し、気候風土にあった丹波篠山らしい住宅である「丹波篠山の家」。このほど、モデルハウスがハートピア北条団地内(細工所)に完成しました。

市役所ハートピア北条団地にも9月29日、「丹波篠山の家」のモデルハウスが完成しました。



(株)一葉建築設計事務所 代表取締役 大前裕樹さん

【概要】	
敷地面積	277.83㎡
建築面積	72.08㎡
延床面積	106.03㎡
構造	木造2階建
工事費	2,688万円 (外構費除く)



体験してみよう

10月2日・3日に行われた完成見学会に、私も娘と参加しました。内部は和風でモダンな雰囲気窓が多く、照明が木造にマッチし、とても安らぎました。人に自慢したり、人を呼びたくなったりする家です。随所に丹波篠山産の木材が使われ、トイレの手洗い器には、趣深い丹波焼が使用されていました。そんなデザインに娘も興味津々で、「いつかこんな家に住んでみたい」と目を輝かせ見入っていました。

「丹波篠山の家」認定基準(抜粋)

認定基準を満たすと、**最大130万円**の補助

- 【必須項目】
- ・木造住宅で階数は2階以下
- ・屋根は切妻または入母屋の瓦葺き
- ・3㎡以上の下屋など
- 【任意項目】
- ・市内工務店の利用など



▲基準の詳細はこちら

INTERVIEW

堺市に住んでいますが、1年ぐらい前から田舎で暮らそうと、土地を探しています。先日、丹波篠山に初めて来て、山の景色やほどよい田舎の風景が気に入り、土地を探しているところです。丹波篠山の家は、



木がふんだんに使われ、すごく気持ちがよいです。木がもともと好きなので、理想の家だなあと思いました。

もりやまひでゆき 森山秀幸さんファミリー

「丹波篠山の家」に住もう！ モデルハウスが完成